

## あつーい夏の到来！ ビールと枝豆って、季語が違うらしい！



いよいよこれからが夏本番・・・となると、キンキンに冷えたビールと枝豆は、まさに黄金コンビなのであります。両方とも季語は“夏”というイメージなのですが、実は、枝豆の季語は“秋”なのだそうです。

俳句などの季語では、立夏(5月5日頃)から立秋(8月7日)の前日までを「夏」と分類しているそうです。

まさに、夏の風物詩といえる枝豆やスイカ、朝顔、七夕、盆踊りなども、季語は秋となってしまうのですね。季語は違えど、夏のビールと枝豆の組み合わせが最高ということには違いありませんし、実は、体にも良い組み合わせなのだそうです。

枝豆に多い成分の一つ、メチオニンは、必須アミノ酸の一種で、肝臓に入ってきた毒素や老廃物を排除して、血中コレステロールをコントロールする働きがあるそうです。その他にも、ビタミンB1や鉄分も多く含まれているということです。

食べ過ぎ、飲みすぎに注意して、今年の夏も「ビールと枝豆」の組み合わせを楽しみましょう！

(館報編集委員 T)

## 学童交通安全指導員を体験してみよう



昨年1学期の終わり頃、仲間から電話があり「学童支援の活動に協力をお願いしたい」とのこと。小学生の通学時のサポート役”いわゆる緑のおじさん”の依頼であった。

高齢者の仲間入りをして時間には余裕があり旗振りぐらいならできるかなあ、と2時間ほどの教育・実習を経て夏休み明けから「緑のおじさんデビュー」。私は、隣の自治会の同じ年代の男性とペアで毎週火曜日に登校時の交差点の安全指導をすることになった。

子どもたちはあらかじめ登校グループに分かれておりグループごとに登校してくる。大きな声で「おはようございます」「行ってらっしゃい」と声をかける。初めてとあって恥ずかしさもあり、かける声が小さいのか返事がなかなか聞こえない。子ども達も照れくさい、ということもあるのだろう。子どもに付き添って見えるお母さんが何人かいらっしゃるが当番なのだろうか。中には事情があって一人では登校できない子どもさんもあるのかな。信号が赤の場合、だれともなくボタンを押し青に変わるのを待つ。

人数の多いグループは、全員が渡り切る前に信号が点滅し始める。子どもたちは、制止の旗を待たずストップ。緑のおじさんは、あわてて旗を差し出して止める。

先輩格の子どもはちゃんと年下の子どもに気を使っているし、年少の子どもは先輩の動作を見て従っている。全く心配なし(安心は禁物)。

日頃の先生方の指導が行き届いていることを感じさせられる。ただ、ほとんど無言の集団でもある。もっと元気に仲間内で話をしながらの登校でもよいのでは、と思うが要らぬ心配なのかな。

緑のおじさん活動を通じて「今頃の子ども達なかなかやるじゃない」と感心させられている。

(館報編集委員 M)

### ～横山小学校 登校時見守りについて～

昨今、子ども会もなくなり、保護者だけの登校時の安全確保が難しくなっています。地域には、複数の運送業者や通勤時の交通量も多く、とても心配です。地域の協力が必要ということで、令和6年9月から「学童交通安全指導員」制度を導入し、登校時の見守りを開始しました。横山小学校では、地域のボランティアの方が、曜日ごとの当番制で実施しています。

横山地区青少年健全育成協議会の北川会長が教えてくれました！



### 横山公民館ご利用のみなさまへお知らせ

いつも横山公民館をご利用いただきありがとうございます。当館の駐車場側出入口の利用について、お知らせいたします。駐車場側出入口は、防犯上の観点から午後5時で施錠いたします。

午後5時以降に当館ご利用の際は、正面玄関をご利用ください。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。事務局より